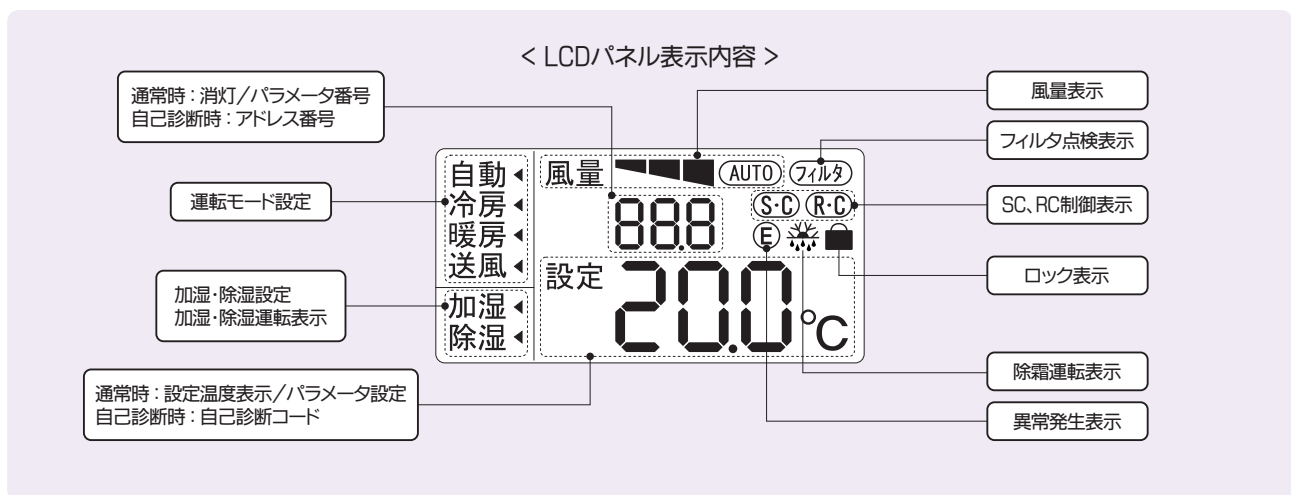
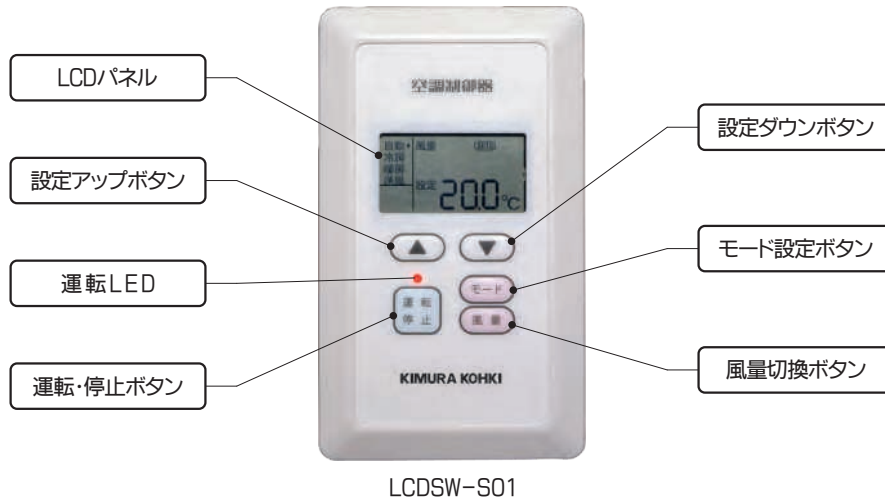


空調制御装置

■液晶制御スイッチ

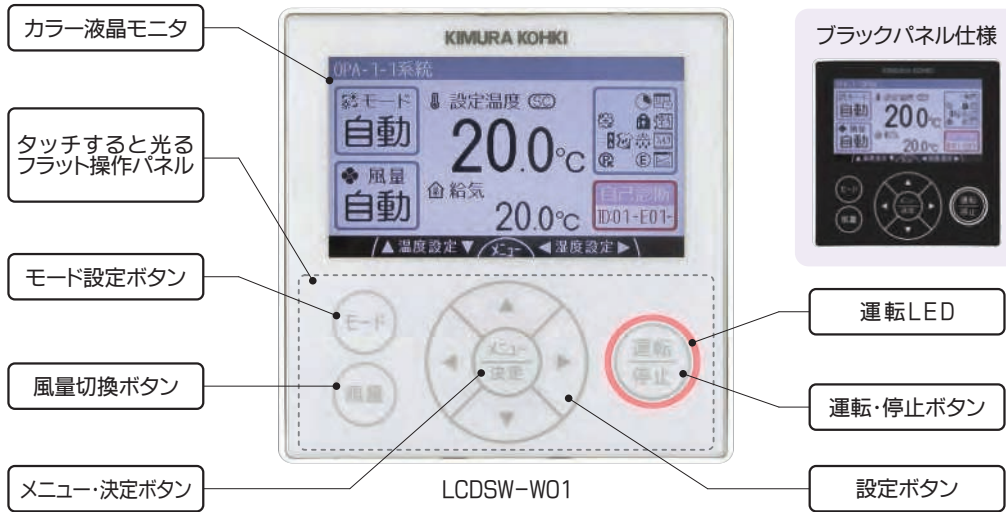


■仕様表

型番	LCDSW-S01			
対応機種	AFL/AFN-RFT-OA AFL-DK/AD-OA AFN-DK/AD-OA	AFL-RDK/RAD-OA AFN-RDK/RAD-OA	AFL/AFN-RFT-MA AFL-DK/AD-MA AFN-DK/AD-MA	AFL-RDK/RAD-MA AFN-RDK/RAD-MA
設定温度	SC制御 10~42°C	SC制御 20~42°C	SC制御 10~42°C	SC制御 20~42°C
設定湿度	RC制御 15~30°C			
モード設定	30~80%			
風量設定	自動-手動(冷房-暖房-送風)			
表示部	自動-手動(強-中-弱)			
配線	LCDパネル、運転LED			
設置場所	各対シールド付ツイストペアケーブル(通信×1対+電源×1対 計4本)配線長300m以下			
	0~40°C、湿度90%以内で結露しないこと。腐食性ガスを含まないこと。 直射日光や他の影響を受けないこと。電磁波や電氣的ノイズの影響を受けないこと。			

- LCDSW-S01型の外形寸法(mm)は70×120です。機能はP39をご参照ください。
- 1台の外調機にスイッチは2台まで取付け可能です。
- 詳細は取扱説明書にてご確認ください。

■マイティリモコン



名称/日付時刻表示

設定温度/湿度表示

運転モード設定

風量設定

環境表示

情報モニタ表示

設定状態や運転状態、機器情報をアイコン表示します。

- 消し忘れ防止タイマの設定状態を表示
- 週間スケジュールタイマの設定状態を表示
- ロック操作によるスイッチロック状態を表示
- 中央監視からの遠方指令をお知らせ
- フィルタ点検をお知らせ
- みずたまイオン設定の設定状態を表示
- 加湿運転をお知らせ
- 除湿運転をお知らせ
- 除霜運転をお知らせ
- 自己診断ログの記録状態をお知らせ
- 自己診断の検出状態をお知らせ

フィルタ点検表示

自己診断コード表示

操作ガイド

■仕様表

型番	LCDSW-W01			
対応機種	AFL/AFN-RFT-OA AFL-DK/AD-OA AFN-DK/AD-OA	AFL-RDK/RAD-OA AFN-RDK/RAD-OA	AFL/AFN-RFT-MA AFL-DK/AD-MA AFN-DK/AD-MA	AFL-RDK/RAD-MA AFN-RDK/RAD-MA
設定温度	SC制御 10~42℃	SC制御 20~42℃	SC制御 10~42℃	SC制御 20~42℃
設定湿度	RC制御 15~30℃			
モード設定	30~80%			
風量設定	自動-手動(冷房-暖房-送風)			
表示部	自動-手動(強-中-弱)			
配線	バックライト付フルドットカラーTFT液晶、運転LED、タッチスイッチバックライトLED			
設置場所	各対シールド付ツイストペアケーブル(線径0.75mm以上、通信×1対+電源×1対 計4本)配線長300m以下			
	0~50℃、湿度90%以内で結露しないこと。腐食性ガスを含まないこと。直射日光や他の影響を受けないこと。電磁波や電氣的ノイズの影響を受けないこと。			

- LCDSW-W01型の外形寸法(mm)は120×120です。機能はP39をご参照ください。
- 1台の外調機にスイッチは2台まで取付け可能です。
- 詳細は取扱説明書にてご確認ください。

空調制御装置

機能比較

液晶制御スイッチ
(LCDSW-S01)



マイティリモコン
(LCDSW-W01)



機能対応表

種類 型番	液晶制御スイッチ LCDSW-S01	マイティリモコン LCDSW-W01
運転・停止	○	○
温度設定	○	○
湿度設定	○	○
モード設定	○	○
風量設定	○	○
加湿設定	○	○
除湿設定	○	○
加湿器洗浄	○	○
消し忘れ防止タイマ	—	○
週間スケジュールタイマ	—	○
省エネ運転設定 ※1	—	○
スイッチのロック&リセット	○	○
言語/単位切替	—	○
表示制限	—	○
CO ₂ 濃度設定(オプション)※2	○	○
空気清浄設定(オプション)※3	—	○
名称表示	—	○
日付/時刻表示	—	○
SC・RC制御表示	○	○
環境表示 ※4	○	○
操作ガイド表示	—	○
フィルタ点検サイン表示 ※5	○	○
自己診断コード表示	○	○
運転情報表示	—	○
冷媒圧力表示	—	○
自己診断履歴/詳細表示	—	○
情報モニタ表示 ※6	△	○

※1 冷房・暖房モードそれぞれの温度設定範囲制限や、冷房・暖房モード切替時の初期温度設定を行います。

※2 オプションのCO₂センサ接続時に、CO₂濃度の設定を行います。

※3 別売吹出ユニット(環境エアビームまたは誘引レジスター)に搭載のイオン&オゾン発生器と連動し、空気清浄を行います。

※4 制御スイッチ内蔵センサによる温湿度や外調機の制御温湿度、室内CO₂濃度(マイティリモコン対応オプション)の表示を行います。

※5 フィルタ点検サインは、タイマ式が標準です。

差圧式にするときは別途差圧スイッチを取付け、無電圧a接点取出しとなります。(オプション)

※6 制御スイッチ(LCDSW-S01)は、加湿・除湿・除霜運転情報のみ表示します。

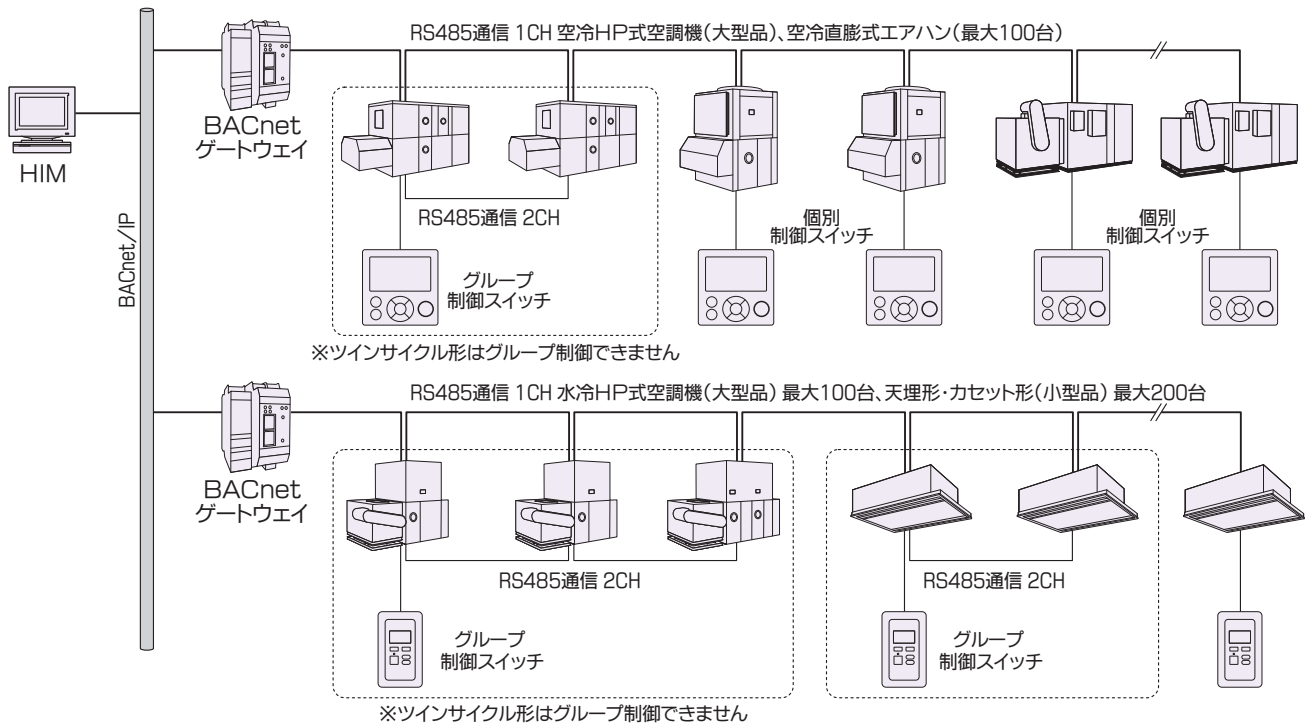
■BACnetゲートウェイ(オプション)

●特長



- (1) BACnetゲートウェイにより外調機をBACnetに接続できます。
- (2) BACnetゲートウェイ1台で最大100台の外調機が接続できます。
- (3) 各種BACnet仕様に準拠。
- (4) 発停・設定変更/参照からセンサ入力、運転/異常情報と多様なオブジェクトを標準装備。
- (5) Web接続にて簡単に外調機の登録、オブジェクトPV(PresentValue)変更/参照が行えます。

●接続構成図(例)



●製品仕様

BACnet規格

電気設備学会
IEIEJ-P-0003:2000, IEIEJ-P-0003:2000 アテンダムa, IEIEJ-G-0006:2006[B-BC]
ANSI/ASHRAE
Standard 135-2004[B-BC], Standard 135-2001
ISO
ISO16484-5:2003(E)[B-BC]

サポートオブジェクト

タイプ番号	名称	略称
0	Analog Input Object Type	AI
1	Analog Output Object Type	AO
2	Analog Value Object Type	AV
3	Binary Input Object Type	BI
4	Binary Output Object Type	BO
5	Binary Value Object Type	BV
13	Multi-state Input Object Type	MI
14	Multi-state Output Object Type	MO
19	Multi-state Value Object Type	MV
15	Notification Class Object Type	NC
6	Calendar Object Type	CA
17	Schedule Object Type	SC
20	TrendLog Object Type	TL
8	Device Object Type	DV

対応オブジェクト

Object-Type	名称	備考
BI	通信ステータス	外調機との通信状態確認用ステータス
BI	異常状態参照	異常状態参照
AI	異常情報参照	異常発生時の自己診断コード参照
BO/BI	動作状態変更/参照	発停操作/状態参照
MO/MI	モード設定変更/参照	モード設定(自動・冷房・暖房・送風)変更/参照
MO/MI	風量設定変更/参照 ※1	風量設定(自動・H・M・L)変更/参照
MO/MI	手元禁止設定変更/参照	手元禁止設定(制御スイッチ操作禁止・許可)変更/参照
AO/AI	温度設定変更/参照	温度設定(SC:10~42℃ ※2, RC:15~30℃)変更/参照
AO/AI	湿度設定変更/参照	湿度設定(30~80%)変更/参照 ※3
AO/AI	CO2濃度設定変更/参照	CO2濃度設定(0~2000ppm)変更/参照
AO/AI	ファン容量設定変更/参照 ※1	ファン容量設定(60~100%)変更/参照 ※4
AO/AI	圧縮機最大容量設定変更/参照	圧縮機最大容量設定変更/参照
AI	吸込温度	外気温度/還気(室内)温度参照
AI	吸込湿度	外気湿度/還気(室内)湿度参照
AI	給気温度	給気温度参照
AI	給気湿度	給気湿度参照
AI	運転情報参照	運転状態(停止・冷房・暖房・送風・待機等)参照
BI	フィルタ点検状態参照	フィルタ点検状態参照

※1 ファン容量設定変更を行う場合は風量設定変更は使用できません。

※2 RDK/RAD型は20℃。

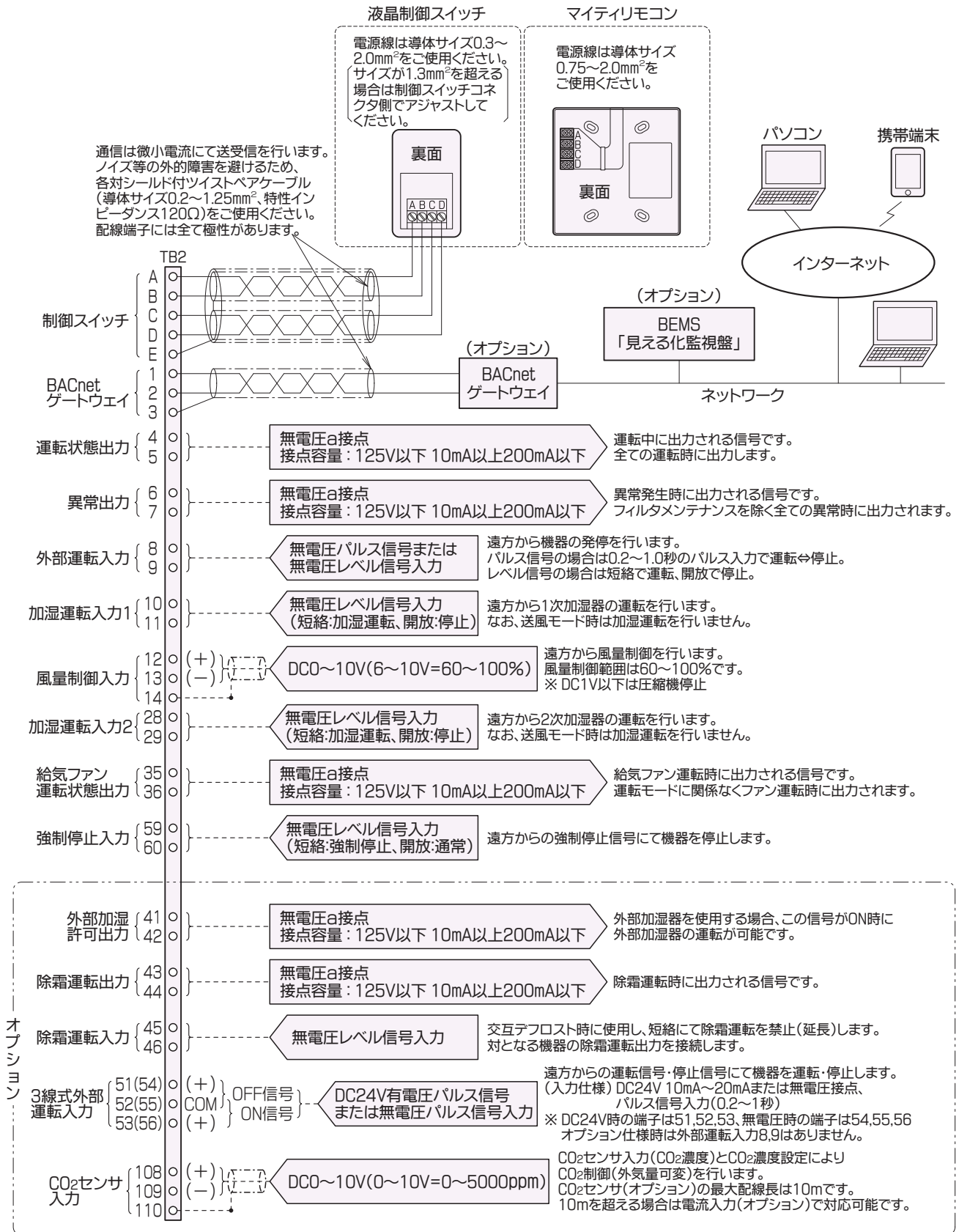
※3 高温高湿仕様は20~80%、RDK/RAD型は30~60%の範囲で可変可能です。

※4 ファン容量変更の下限値は型番風量の60%となります。

例) 型番10000で納入風量8000m³/hの下限値は6000m³/hとなります。

注) 制御スイッチとBACnetからの操作については、後設定有効となります。

機外結線(例)



※ 外部入力のリレーには微小電流接点用をご使用ください。風量制御入力とCO₂センサ入力は併用できません。DC 0~10Vは、DC 4~20mAに変更可能です。(オプション) その他入出力オプションも多数ご用意しておりますのでお問い合わせください。

● 本図はAFL/AFN-RFT-OA型を示します。

■使用環境

機 種		AFL-RFT-OA AFL-DK/AD-OA AFL-RDK/RAD-OA AFN-RFT-OA AFN-DK/AD-OA	AFL-RFT-MA AFL-DK/AD-MA AFL-RDK/RAD-MA AFN-RFT-MA AFN-DK/AD-MA
外気条件	乾球温度(DB)	-6~+40℃	
	湿球温度(WB)	+31℃以下	
	相对湿度(RH)	35~90% ^{注1)}	
還気条件	乾球温度(DB)	-	+5~+33℃
	湿球温度(WB)	-	+25℃以下
	相对湿度(RH)	-	35~90%
周囲条件 <small>注1)</small>	乾球温度(DB)	-6~+40℃	
	湿球温度(WB)	+31℃以下	
	相对湿度(RH)	35~90% (結露なきこと)	
電源	供給電圧	定格電圧	
環 境		標高1000m以下 腐食性、爆発性ガスのないこと 粉塵、油分が特にひどくないこと	

注1) 加熱・暖房時はRH=28~90%

注2) 本体内通過空気との温度差が大きいときは、表面に結露する場合がありますので弊社までご相談ください。

■注意事項

本製品は外調機(外気処理空調機)です。室内の温湿度制御は別途空調機を併用して行ってください。

以下①~③の様な運転環境の場合、圧縮機最低容量で運転を行っても、設定温度により圧縮機がON-OFFを繰り返し、過冷却・過加熱及び生外気が直接流入する可能性があります。

- ① 中間期などの負荷が少ない条件で運転を行った場合
- ② 風量制御を行い、設計風量に対して少風量運転を行った場合
- ③ 要求冷却能力と加熱能力に過大な能力差がある場合

風量制御は定格風量の100~60%の範囲内でご使用ください。

風量可変時は定格風量時に比べて制御性が低下します。

加熱運転時、給気が設定温度に達してから加湿を開始します。

加熱運転時、外気や運転条件により除霜運転を行います。(※着霜が始まると加熱能力が低下します。)

本製品は年間冷却運転には使用できません。

寒冷地、積雪地域および機械室設置、低騒音が要求される場合はDK・AD/RDK・RAD型をご使用ください。